

水素社会の未来を切り拓く。川崎重工



「究極のクリーンエネルギー」水素でこれからの社会を支える。

エネルギーとして利用する際にCO₂を排出せず、しかもさまざまな物質から生み出すことができる、水素。これを自動車や発電の燃料として活用すれば、地球温暖化と資源枯渇という二つの環境問題を同時にクリアすることができます。

未利用資源や自然エネルギーからつくり出された水素の利用を普及させるために、川崎重工は「つくる」「はこぶ」「ためる」「つかう」といった“水素エネルギーサプライチェーン”に必要な、インフラ技術の開発・製品化に取り組んでいます。水素を安全に、安価に、安定的に取り扱い、私たちの豊かな暮らしを実現していく道。それが“Kawasaki Hydrogen Road”です。

つくる



未利用資源の活用

液化水素の製造

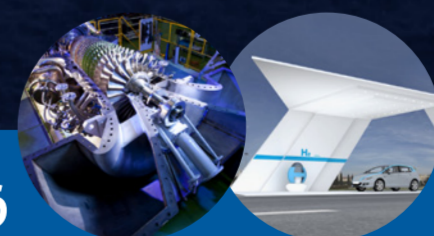
はこぶ・ためる



液化水素の大量輸送

液化水素の長期貯蔵

つかう



水素ガスタービン発電

燃料電池車の燃料

Kawasaki Hydrogen Road